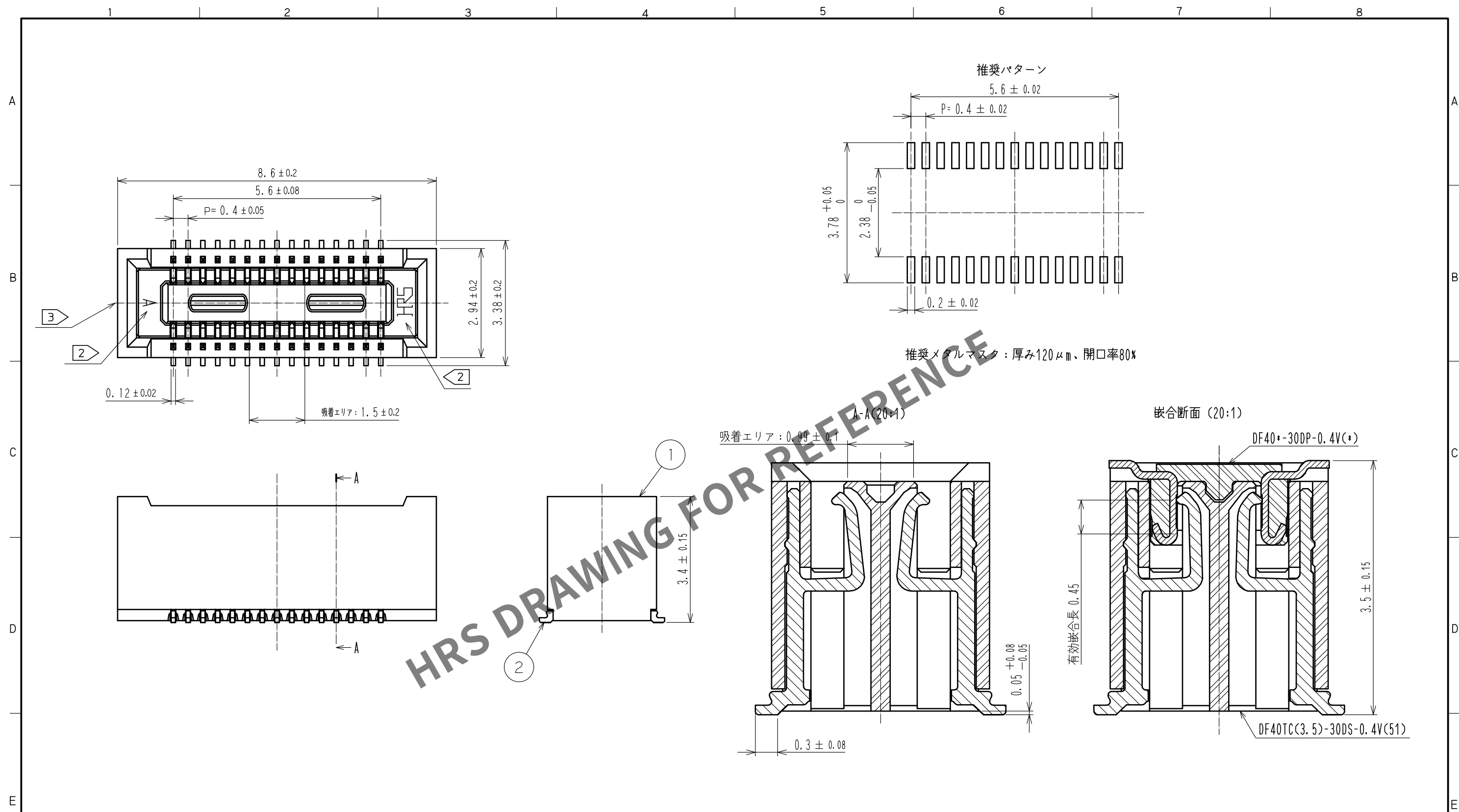
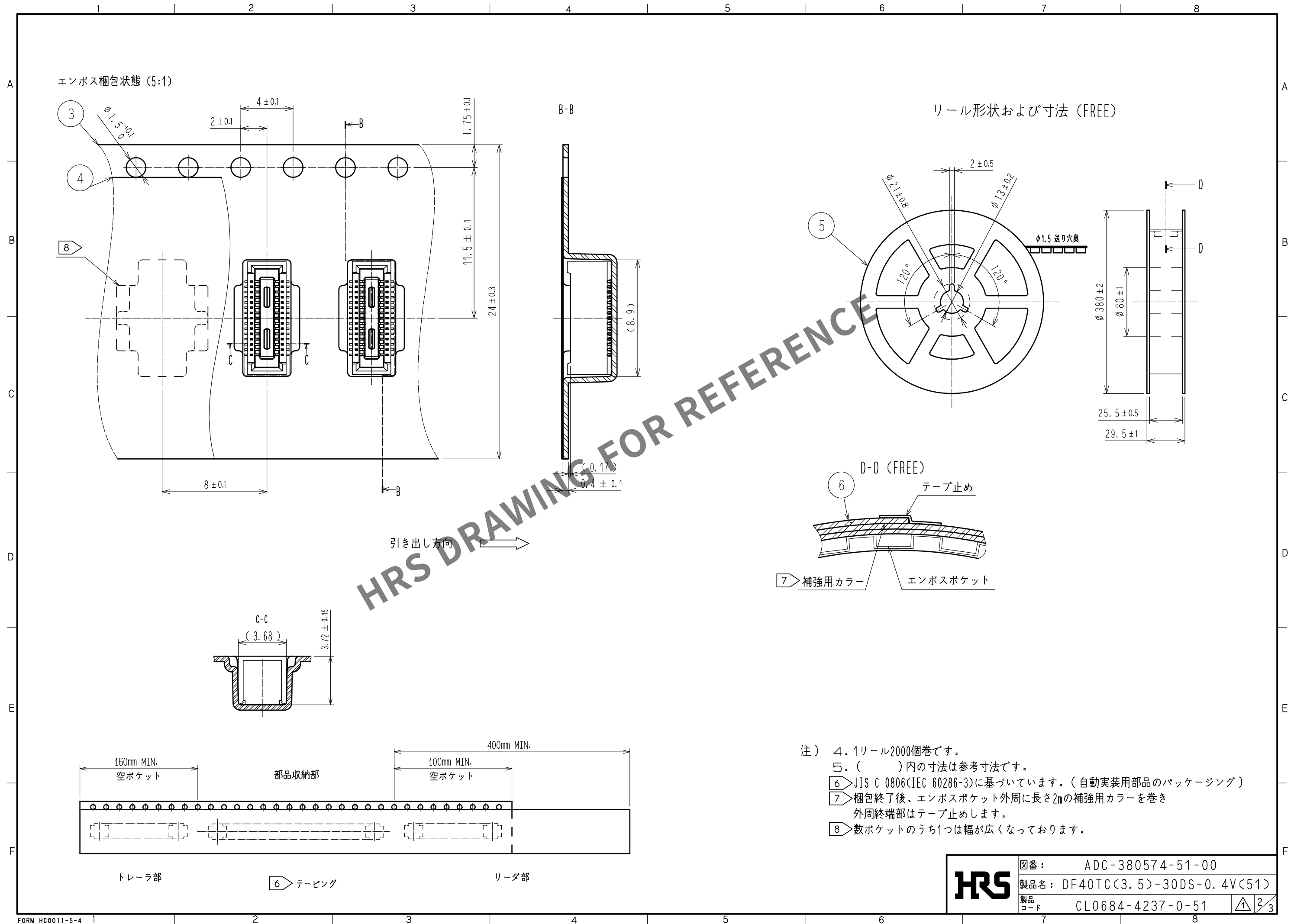




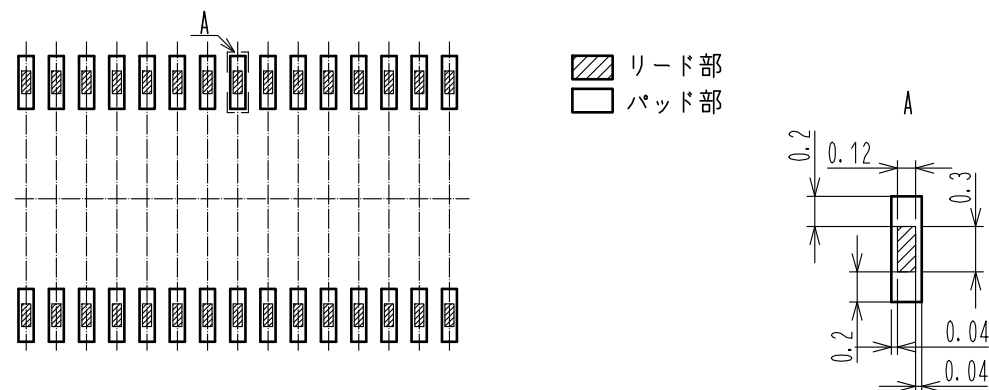
注) 1. 平坦度は0.1mm以内です。
2. 図示近辺にHRSマーク及びCAV NO.を表示します。
3. ゲート位置は図示近辺に設定しています。

△								
2	銅合金	接触部:金めっき 0.05μm MIN	6	PS	CLEAR, 補強用カラー			
		リート' 部:金めっき 0.05μm MIN	5	PS	BLACK, プラスチックリール			
		下地:ニッケル 1μm MIN	4	ホ' リエステル	CLEAR, カバ' ーテーフ'			
1	LCP	BLACK, UL94V-0	3	PS	CLEAR, エンボ' スキャリアテーフ'			
部番	材 質	処 理 , 備 考	部番	材 質	処 理 , 備 考			
UNITS mm		SCALE 10 : 1	△の数 △ 2	訂 正 記 事 DIS-H-00013812		設 計 YK. SATAKE	検 図 RT. SHIMIZU	年月日 20220517
HRS HIROSE ELECTRIC CO., LTD.		承 認 : WR. FUKUCHI	20190817	図番 : ADC-380574-51-00				
		検 図 : TS. MIYAZAKI	20190817	製品名 : DF40TC(3.5)-30DS-0.4V(51)				
		設 計 : YK. SATAKE	20190816	製品 コード CL0684-4237-0-51				
		製 図 : PAN YIWEI	20190816	△ 13				



9. 各注意点の詳細については、本シリーズガイドライン：ATAD-H1015をご参照ください。△

基板パターンとコネクタの位置関係について



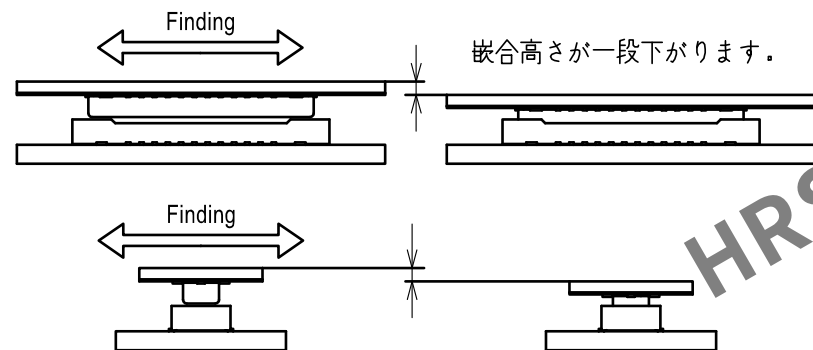
コネクタの嵌合方法に関して

本製品を嵌合させる際は、手で嵌合頂くようお願い致します。

嵌合の手順

- (1) 誘い込みを手探りで探して、位置合わせを行って下さい。
本製品は嵌合をうまく誘い込む為、誘い込みのガイドリブを設けています。
位置合わせが出来ますと、コネクタが誘い込まれます。
誘い込まれると、コネクタの嵌合高さが一段下がるのが、手感触でわかります。

コネクタを前後左右に動かし誘い込み口を探してください。



- (2) 誘い込まれた状態では、コネクタ同士が平行になっており、前後左右にコネクタを動かすことができない状態になっています。この状態から、嵌合を最後まで行って下さい。

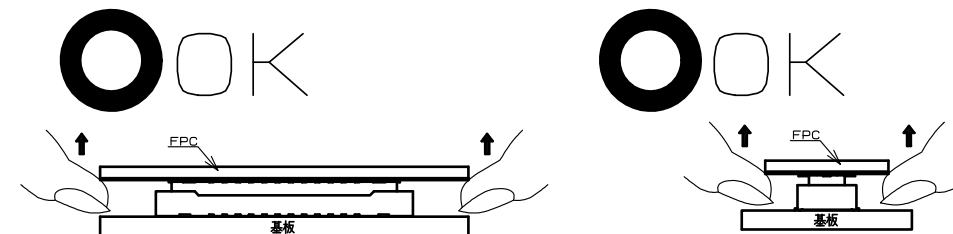


- (3) 嵌合が最後まで行われているか確認をしてください。
片側が浮いている場合や斜めに嵌合されている場合は、一度嵌合を外し、再度嵌合し直して下さい。

コネクタの取り外し方法に関して

本製品を嵌合させる際は、手で嵌合頂くようお願い致します。

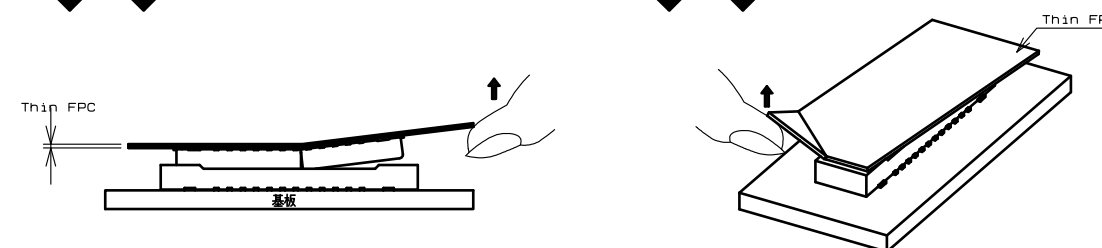
- (1) コネクタを取り外す際は、コネクタ搭載面に対して垂直報告に抜くのが望ましいですが、
基板対FPCでの取り外しの場合は、多極になればなるほど、また、FPCの厚みが薄いと、垂直方向に
取り外すのは困難になります。



- (2) 取り外しが困難な場合は、ピッチ方向側に斜めに取り外して下さい。
幅方向側からの取り外しは端子に大きな負担がかかりますので、ご注意下さい。



- (3) FPCに十分な剛性がない場合は、はんだ剥離、コネクタ折れが発生する場合がありますので、
試作時など事前にご使用頂くFPCで繰り返し動作を確認の上、ご使用をお願い致します。
また、FPCのコーナー部を持って、斜めに取り外すと、端子に大きな負担が掛かりますので、
行わないで下さい。



HRS

図番： ADC-380574-51-00
製品名： DF40TC(3.5)-30DS-0.4V(51)
製品コード： CL0684-4237-0-51 △ 3/3